令和8年10月16日　校長通信 No.15

ことのは

岡崎市立常磐小学校
校長　岡村　直美

14日の校内学芸会では、一週間前の下見の会以降、子供達が気付いた「もっと伝えたい気持ち」や「さらに工夫したい台詞や動き」など、よりよく表現しようと取り組んだからこその変容を感じました。これまでの活動で身に付けてきた演奏や演技を存分に発揮する発表を児童が相互に鑑賞し、楽しみました。

明日の学芸会では、179名がのびのびと作り出す『常磐劇場　～「楽しい」がつまった宝箱～　』をぜひ、ご覧ください。



「きれいな声、すごい」「2本も棒（ばち）を持ってて、かっこいい」校内学芸会での音楽部発表に聞き入っていました。部活動の時間を活用し練習してきた歌と演奏。会場を包み込む素敵な時間を生んでいました。

「指が思うように動かせるようになってきたよ」「音が強く出るようになったよ」
1年生の音楽の授業では鍵盤ハーモニカの演奏に取り組んでいます。





スローガン**「常磐劇場　～「楽しい」がつまった宝箱～」**をもとに、代表委員が全校児童にメッセージカードの協力を呼びかけました。**「ストーリーの悲惨さが伝わるように低い声でゆっくり大きく言う」「動作を大きく。みんなに理解してほしいから自分たちで意見を出し合って劇を成功させる」「後ろまで聞こえる大きい声で成功させたい」「ソウを守る必死さが伝わるように表情を変える」「口の形を意識してはっきり話す」「台詞のない時も劇に参加する」**学級の劇にこだわりをもち、懸命に取り組んでいることが伝わってきます。







「当たってもいたくない」「ふわ～っと跳ぶよ」各学級の遊び道具に、ドッチビーを加えました。ドッチビー独特の跳び方が面白そうです。

「鉢の中にね、キラキラの入れるんだ」「ぼんやりにじませて塗ったんだよ」「キラキラ光る銀紙が虹色の魚のうろこだよ」来月のおかざきっ子展の作品や、水彩絵の具の特徴を生かした作品、読書感想画作成など、自分の思いを表現する図工の時間。それぞれの教室では、自分の作品に入り込み熱中して作っている子ども達がいます。柔らかな発想力、とっても素敵です。



保健室前の「気持ちを言葉であらわそう」**「こりゃ、「エッヘン」って自慢げじゃない？」**絵をヒントに友達と話しながらカードに気持ちを書き掲示作りに参加しています。

